


ペーパーカッター 使用マニュアル

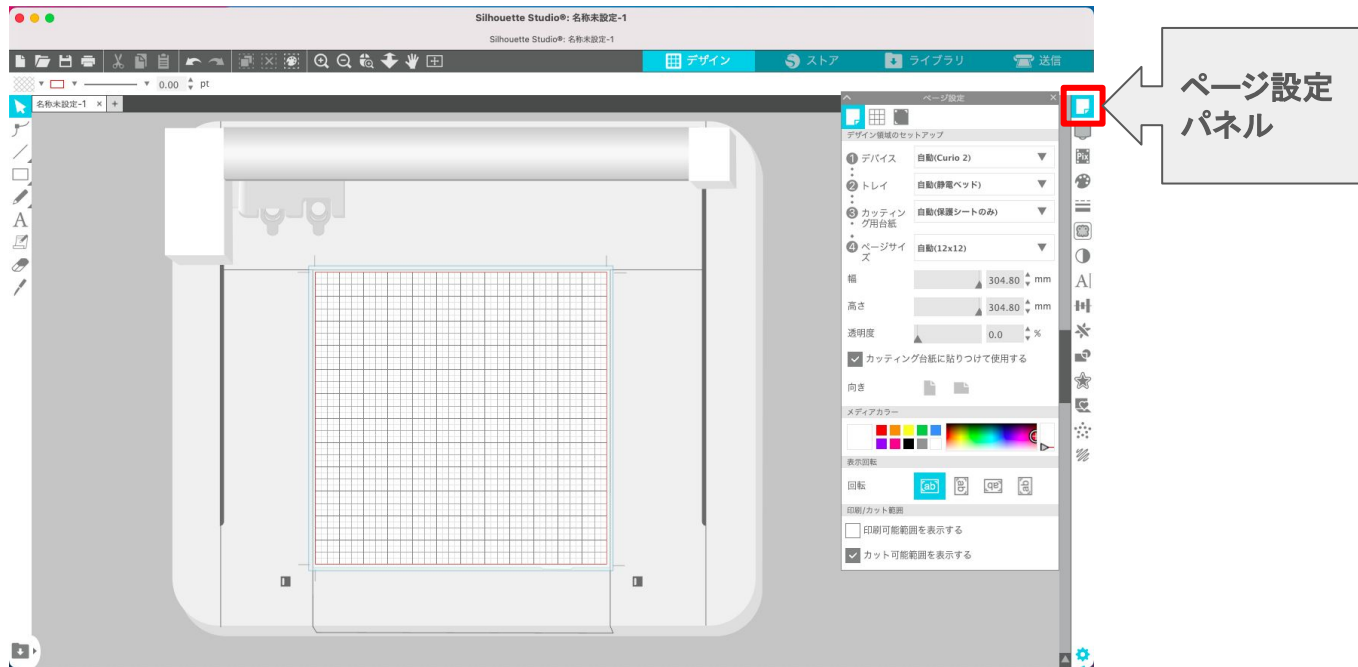
 silhouette / *silhouette CURIO2*



ファブラボ
やまぐち

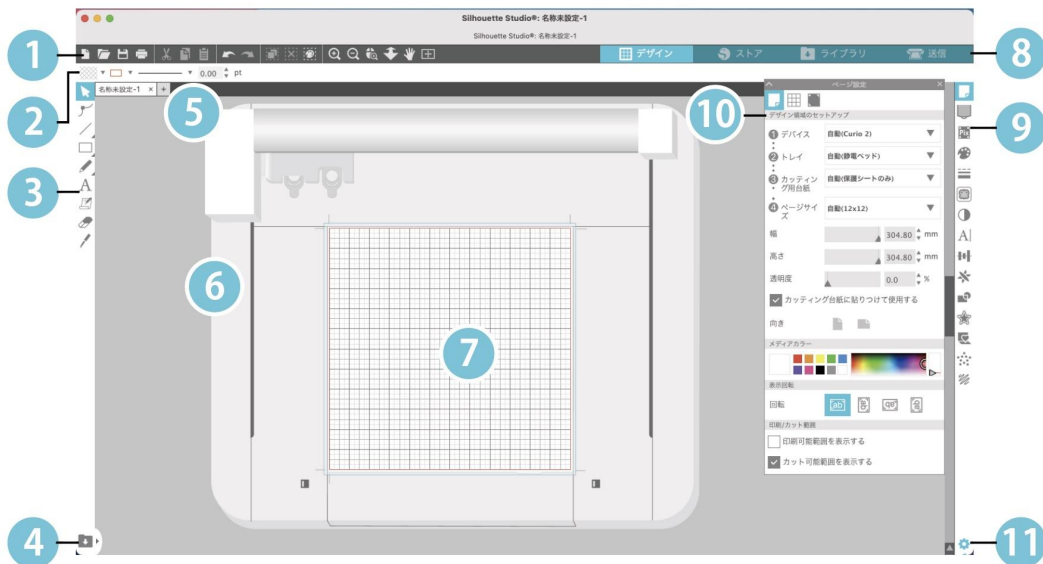
Silhouette Studioの起動

アプリケーションフォルダを開いて、Silhouette Studio を起動します。
Silhouette Studio を起動すると、デザインページが表示されます。



ページのサイズや向きの変更は、**ページ設定パネル**で行うことができます。
「カッティング用台紙」の選択、「カッティング台紙に張り付けて使用する」のチェックの有無を確認してください。






Silhouette Studio／作業エリアの概要

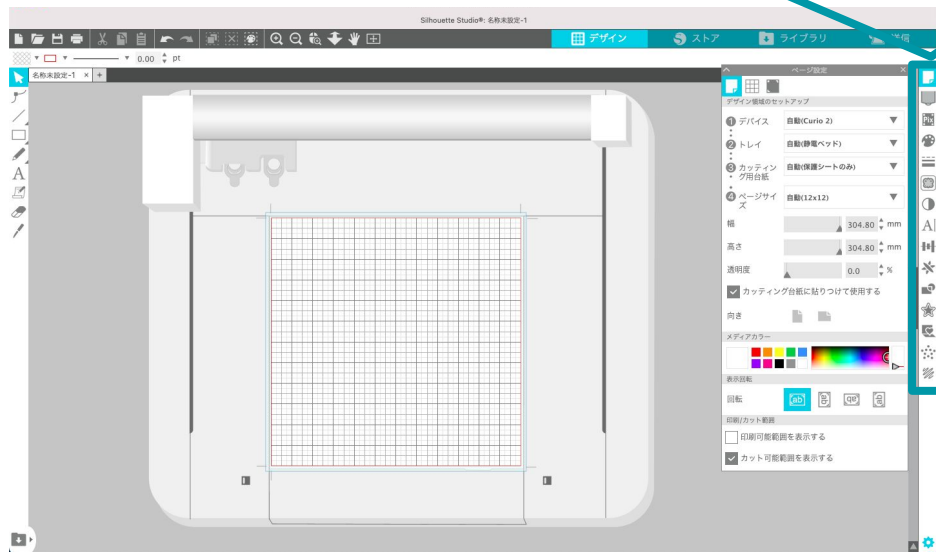


- 1 ドキュメントツール — ドキュメントの調整またはドキュメント上のオブジェクトの選択に使用します
- 2 クイックアクセスツールバー — 調整がより簡単に行えるよう、特定のタスクで表示されます
- 3 描画ツール — 図形を作る、およびデザインエリアにテキストを追加するために使用するツールです
- 4 ライブラリ分割画面 — このボタンを使用して、ライブラリ / デザインスペースの画面を分割します
- 5 ドキュメントタブ — これらのタブを使用して、開いているドキュメント間を切り替えます
- 6 ホールドエリア (グレー) — デザインスペースを調整する場合は、この機能を使用してデザインをホールドします。このエリア内にあるデザインはカットまたは印刷されません

- 7 アクティブカットエリア — デザインを作成して配置する場所です。このエリア内にあるデザインはカットまたは印刷されます
- 8 ライブラリ分割画面 — このボタンを使用して、ライブラリ / デザインスペースの画面を分割します
- 9 Silhouette Studio® ツール — Silhouette Studio® ツールには、デザインの調整に使用するさまざまな機能があります
- 10 パネル — 他のオプションを使用するため、Silhouette Studio® ツールが表示されるパネルです
- 11 環境設定とテーマ — これらのオプションを使用して、Silhouette Studio® の環境設定や設定を調整します

Silhouette Studio / 作業ツール ①

-  線の種類：線をミシン目にしたり、線の太さを調整するコマンド
-  テキスト：打ち込んだ文字の書式や大きさを設定するコマンド
-  整列：複数のオブジェクトを整列させるコマンド
-  図形の統合：複数のオブジェクトを統合、分割できるコマンド
-  トレース：画像からパスを作成するコマンド



Silhouette Studio / 作業ツール ②



選択ツール



頂点の編集ツール



線ツール



描画ツール



フリーハンドツール



テキストツール



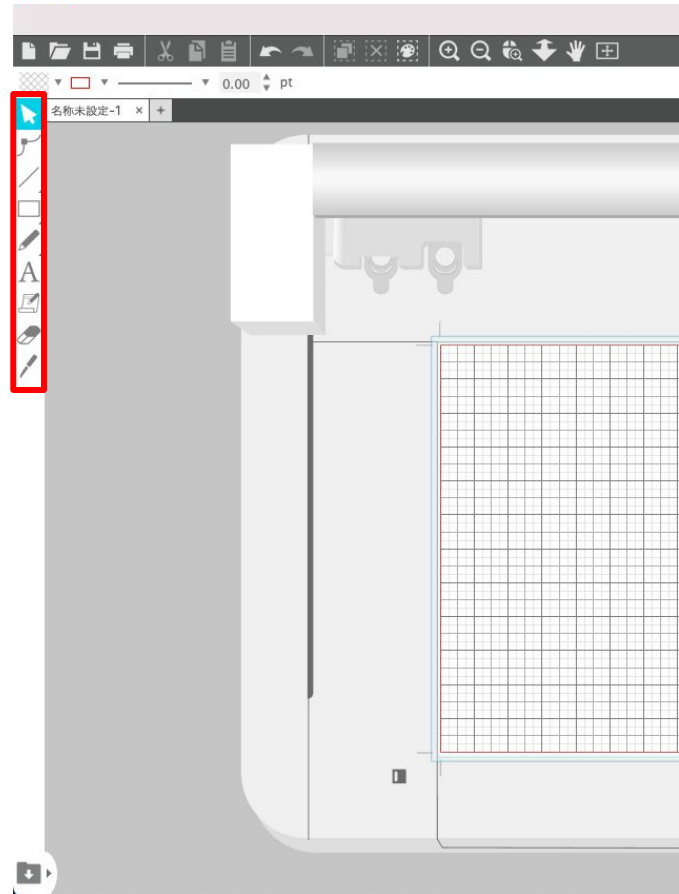
メモツール



消しゴムツール



ナイフツール



デザインタブ



デザインを作成するためのワークスペースです。

ライブラリ、送信メニューを表示している際でも、「デザイン」タブをクリックしてデザインページに戻ることができます。

ストアタブ



インターネットに接続している時に「ストア」タブからシルエットデザインストアにアクセスし、デザインやフォントなどの**コンテンツを閲覧および購入**することができます。

ストアタブ



保存したデザインやシルエットデザインストアからダウンロードしたコンテンツには、「ライブラリ」タブからアクセスすることができます。

ライブラリでは、フォルダやサブフォルダを追加して**デザインを並べ替え**たり、**整理**したりできます。

送信タブ



「送信」タブでは、デザインのカット条件を設定したり、カットデータを**SilhouetteCURI02に送信**することができます。

加工データの作成

1. ソフトを起動する

パソコンを起動し Silhouette Studio(シルエット スタジオ) を起動します



2. ファイルを開く

Silhouette Studio を起動したら、ファイル>挿入で画像を読み込みます (もしくは画面にドロップ)

データは JPG・PNG の読み込みが可能

3. トレースする ※後述の作業ツール②を参照

トレースをクリックし、トレースエリアの選択をクリックします

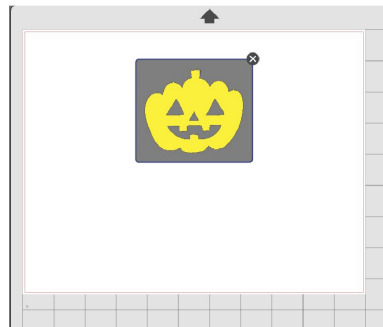
トレースしたいエリアをドラッグして範囲を指定します (図①)

高パスフィルター/しきい値などの調整をした上でトレースボタンをクリックします

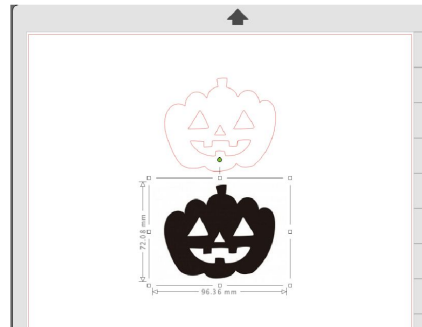
トレースしたアウトラインのデータが完成します (図②)

選択ツールに戻り、トレースしたデータを実際に出力したい大きさ・場所に配置します

(図①)

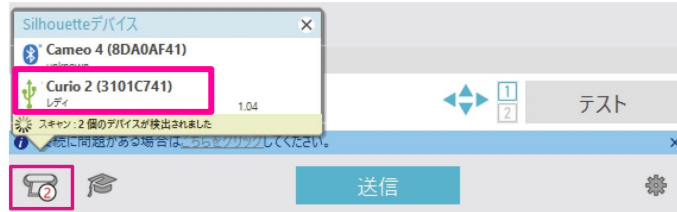


(図②)



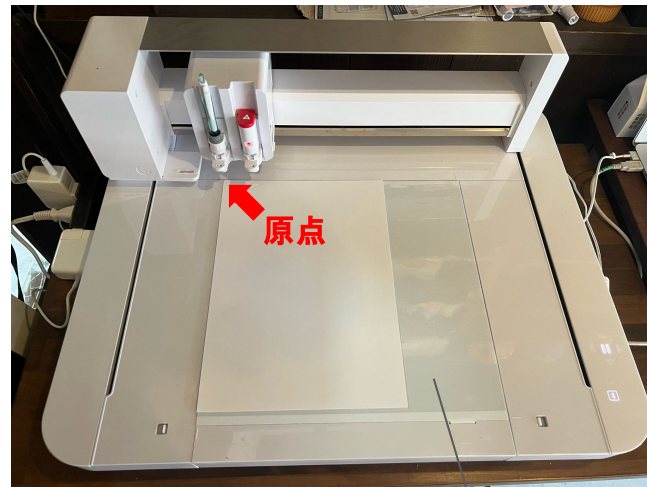
CURIO2 起動 ~ データ送信

① 電源ボタンを押してSilhouette CURIO2を起動します。
Silhouette Studioの[送信]タブを開き、[Silhouetteデバイス]
アイコンをクリックします。



② CURIO2とPCは**USBケーブル**で接続しています。
表示されるデバイスのリストから [CURIO2] を選択すると、ソフトウェアが同期を
開始します。
送信パネルでCURIO2 のステータスが [レディ] または、[メディアセット中] と表示
されたら、セットアップは終了です。

③ 静電テーブルを本体にセットします。
静電テーブルを奥までスライドさせ、クリップを内側に押しつけてロックさせます。
静電テーブル上に静電テーブル保護シートを敷き、メディアを置きます。
※ メディアを左上隅(原点)に合わせてセットします。



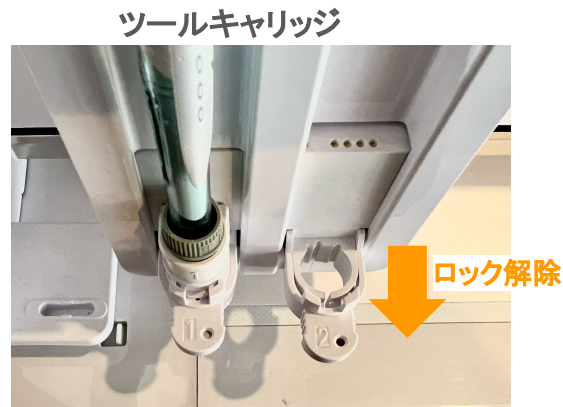
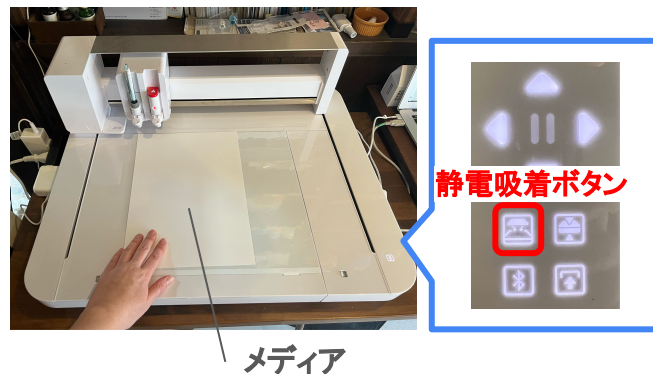
静電テーブル
保護シート

④メディアを軽く押さえて、静電吸着ボタンを押します。
メディアが静電吸着して固定されます。

⑤静電吸着ボタン(白)が点灯し、静電吸着が機能していることを確認してから使用してください。

⑥ツールをセットします。
Silhouette CURIO2 では、2 つのツールを同時にツールキャリッジにセットして使用することができます。
ツールホルダーのロックレバーを手前にゆっくり引き、ロックを解除します。
ツール(オートブレード)のリブをツールホルダーの切り欠きに合わせ、しっかりと差し込みます。
ロックレバーを戻してロックします。

ツールをセットするとSilhouette CURIO2 がツールを認識し、Silhouette Studio の送信タブにツールが自動的に表示されます。



⑦Silhouette Studio 画面右上の[送信] タブをクリックします。



⑧カット設定パネルが表示されます。

カット条件のプルダウンリストから、使用するメディアを選択します。
メディアに最適なカット条件が自動で適用されます。

⑨[送信] ボタンを押してカットを実行します。

⑩カット動作が終了したらSilhouette CURIO2の[静電吸着] ボタンに
タッチし、メディアを取り外します。

